



1. 竪穴住居跡 (H13号)



2. 竪穴住居跡 (H17号)



3. 竪穴住居跡 (H38号) および住居掘立柱建物跡 (H12号)



4. 掘立柱建物跡 (H19号)

● 主な調査成果

西富岡・向畑遺跡は、弥生時代を除く旧石器時代から近世にいたる遺構が発見されている複合遺跡です。現在出土品等整理作業中の調査区では、奈良・平安時代や縄文時代中期・後期の遺構・遺物が多数発見されています。その中で、古墳時代から奈良・平安時代の竪穴住居跡は72軒以上、奈良・平安時代の掘立柱建物跡が17軒以上見つかっています。珍しい遺構としては、柱の間を繋ぎ合わせる溝を持つ「溝持ち」掘立柱建物が見つかっています。四辺を溝で繋ぐタイプと、2辺のみを繋ぐタイプが確認されています。

- 調査期間 2007年4月1日～2022年12月28日
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、縄文、旧石器
- 所在地 伊勢原市西富岡
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅から北北西に約2kmの富岡丘陵上

